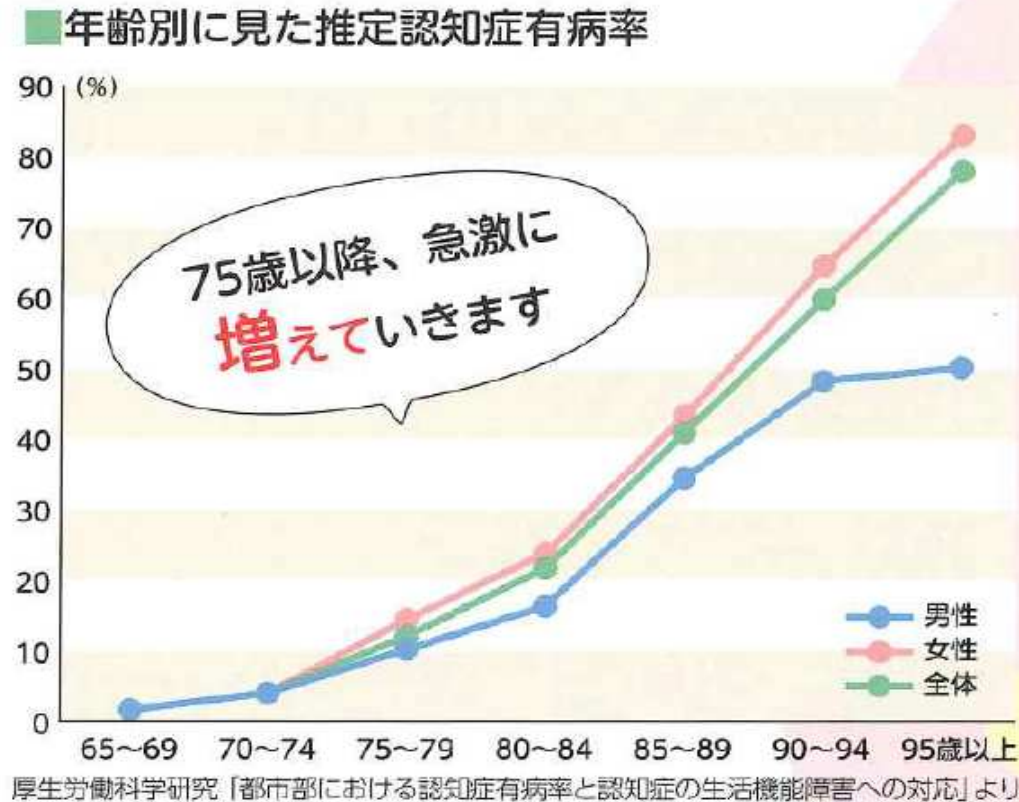


# 認知症とは①

## いつかはみんな認知症に!?



わが国の平均寿命は世界のトップレベルです。

喜ばしい一方、長寿になると認知症になる人が増え、85歳を超えると約半数の人が、95歳以上では約8割の人が認知症になるというデータがあります。



## 認知症とは②

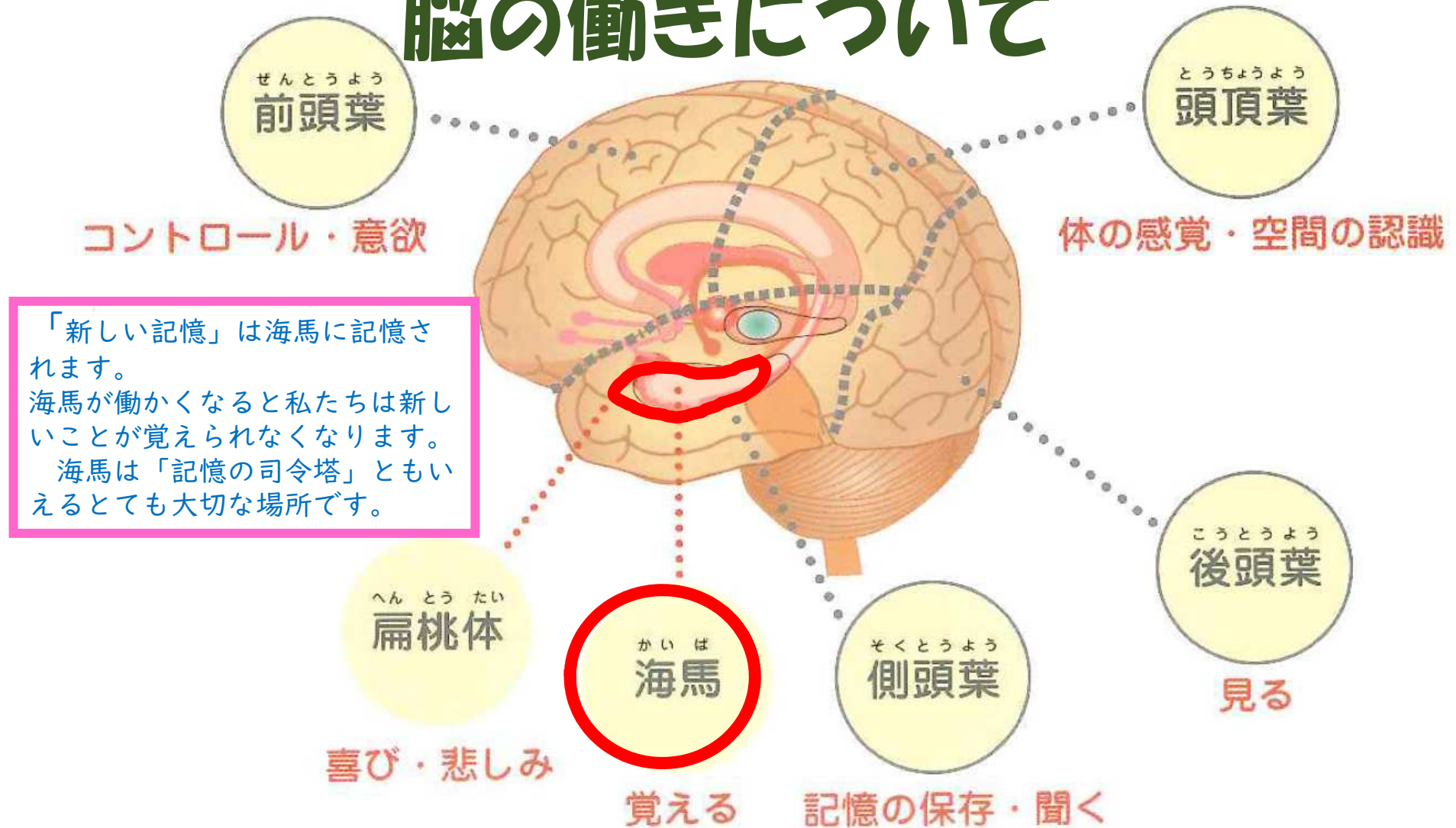
### 認知症とは？

- ❁ いろいろな原因で脳の細胞がおとろえ、脳の司令塔の働きに不都合が生じ、様々な障害が起こり、生活するうえでの支障が、およそ6カ月以上継続している状態です。
- ❁ 生活するうえで支障が出てきます。
- ❁ 主な認知症は手術や特效薬がありません。
- ❁ 周囲との関わり方や環境が影響して症状があらわれます。



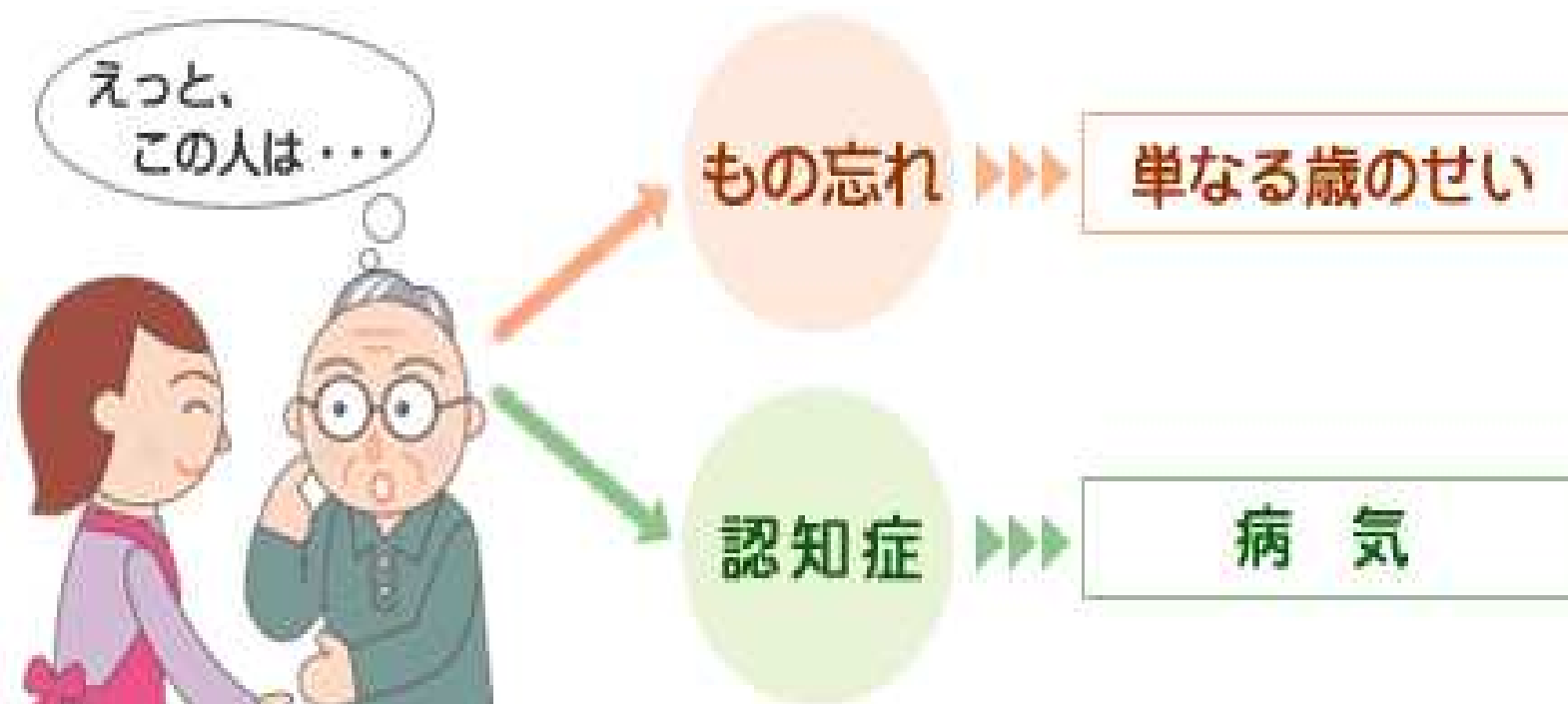
# 認知症とは③

## 脳の働きについて



## 認知症とは④

認知症は、  
単なる『もの忘れ』ではありません。

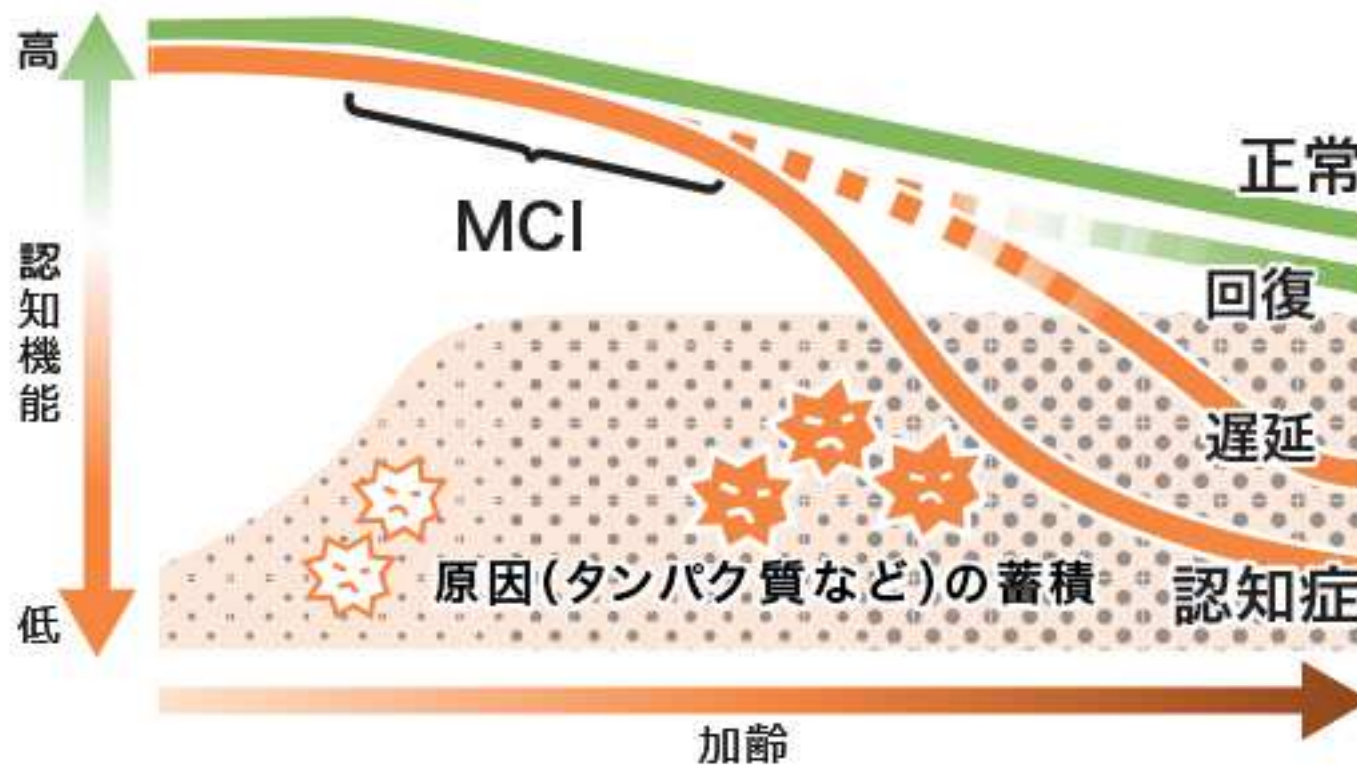


# MCI(軽度認知障害)とは①

- \* 正常と認知症の中間の状態です。
- \* 物忘れはあるが、日常生活の支障は少ないです。
- \* 年間10～30%が認知症に進行すると言われています。
- \* 一方、正常なレベルに回復する人もいます。
- \* MCIから認知症を発症する速度は人それぞれです。
- \* 早期発見が重要です。
- \* 気になる場合は、医療機関などに相談しましょう。



## MCI(軽度認知障害)とは②



MCIはその症状と対応によって回復したり、発症が遅延したりすることがあります。

# 若年性認知症とは①

## 65歳未満で発症した認知症のこと

記憶などの知的な働きが低下していき、日常生活やしごとなどの社会生活に支障が出てきます。



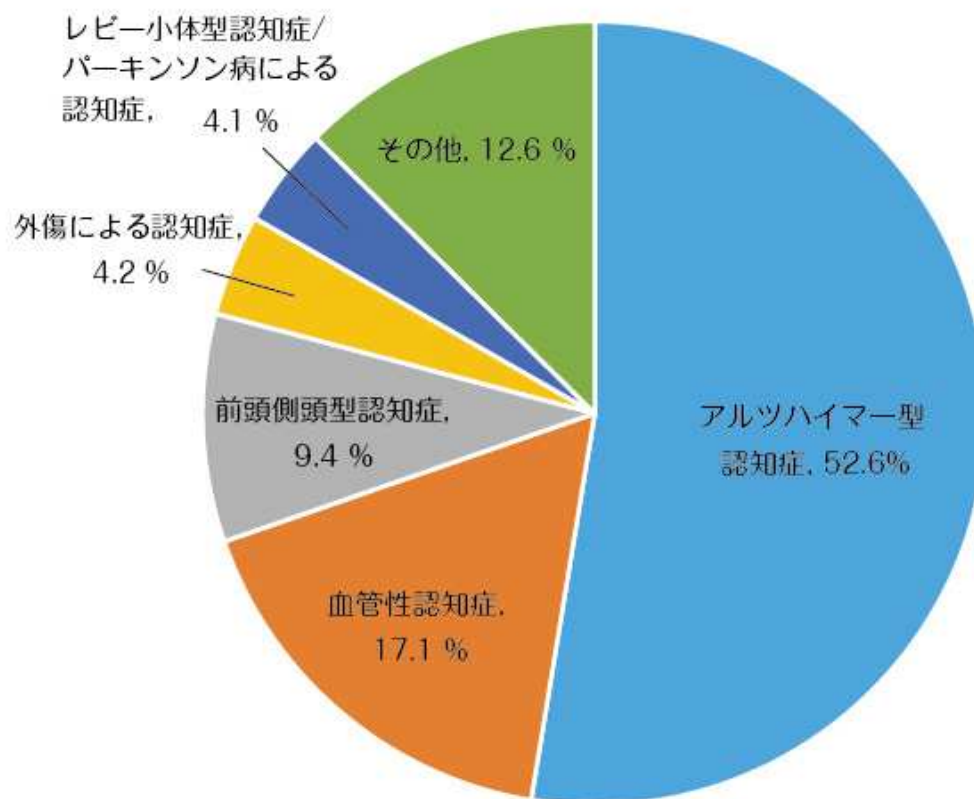


## 若年性認知症とは②

- 全国の若年性認知症者数は推計 35,700 人
- 男女比は 6 : 4 で男性が多いです。
- 40～50歳代と働き盛りの世代のため家族より同僚が変化に気づきやすいです。
- 本人だけでなく家族の生活や経済的影響も大きいです。
- 早期に見つかれば、配置転換などによる雇用の継続などができます。
- 周囲の病気への理解によって、その人らしい生活続けることができます。

# 若年性認知症とは③

若年性認知症（調査時65歳未満）の基礎疾患の内訳



日本医療研究開発機構認知症研究開発事業による  
「若年性認知症の有病率・生活実態把握と多面的データ共有システムの開発」  
(2020年3月)

# 若年性認知症当事者からのメッセージ①

## 若年性認知症

65歳未満で発症した場合を指す

●働き盛りの世代のため、  
家族よりは同僚が変化に  
気づきやすい

●本人だけでなく、家族  
の生活への影響も大きい

●病気のために仕事に支障が出たり、仕事を  
辞めることになるなど経済的に困難な状況に  
なりやすく、社会的にも大きな問題となっ  
ている。

企業や医療・介護の現場でも認識が不足



## 若年性認知症当事者からのメッセージ②

Aさん 50代男性

今から6年前に異変に気付き、3年前に若年性アルツハイマー型認知症と診断を受ける。

### <どんな症状がありますか>

直近の行動の記憶を忘れることや、置忘れのほかに、日にちや曜日の感覚、知らないところだと方向が分からなくなるなどの症状があります。でも生活は何とかなっています。

### <現在の気持ちはどうですか>

「好きだった仕事ができなくなったことが一番悲しい」

以前はなんで自分が？とか、何が悪かったのかな？とかこれからどうなるのかな？とか考える時もありました。

でも、アルツハイマー型認知症は完治できる治療方法がないので、じたばたしても仕方がないかなと思っています。



## 若年性認知症当事者からのメッセージ③



<困ったり、大変だったことは>

「職場でのことが一番大変でした。」

- 最初の記憶障害の疑いの診断書を提出して配置転換をしてもらいましたが、病気を明らかにしたことで、マイナス査定、降格などもあって、給料はずいぶん減りました。
- でも、子供の教育が終わるまではやめられないと思い、頑張りました。
- 配置転換先では、仕事が全く与えられずボーっと机にへばりつく日もあり、仕事が好きなのに、何もない時間は大変苦痛でした。
- 次々に配置転換され、最後の部署では目で見てわかるように写真などで工夫をしてほしいと妻はお願いしてくれました。
- しかし、上司はわかってくれましたが、担当者までは周知されず、工夫は全くしてくれませんでした。
- 後で知ったことですが、私がした仕事について間違っていることだけを上司に報告していたようです。

## 若年性認知症当事者からのメッセージ④

<困ったり、大変だったことは>～つづき～

- そして、病院に受診するために休むと、「また休む気か」と言われたり、とても悔しかったです。
- 理解してくれる人もいましたが、偏見の目を向ける人もいて、そんな中で働き続けることはとても疲れました。
- その中で、自分なりに一生懸命仕事をし、職場の人の反応にも敏感になり、自分の頭の中はいっぱいになっていたと思います。
- そんなことが続き、このままでは、身体も心も壊れてしまうと思い、退職せざるを得なくなりました。



## 若年性認知症当事者からのメッセージ⑤

### <されて嫌なことは？>

- 自覚はありませんが、認知症の症状で、何度も同じことを聞いたりします。そんな時に、あきれたり、苦笑いをしたりしないでほしいです。  
馬鹿にされたんだなって傷つきます。
- せかされたり、複数のことを言われるとパニックになって動けなくなってしまうです。
- 押し付けず、さりげなく、その人に合わせながら そっと見守ってほしいと思います。



## 若年性認知症当事者からのメッセージ⑥

### <最後にみなさんに伝えたいこと>

- 認知症と診断されて、職場でも、近所の人でも、お店の人でも、まだまだ理解されていない病気なんだと改めて思います。  
これからどんどん増えていくと思われる認知症患者を、正しく理解してくれる人が増えたらいいなと思います。
- そして認知症になっても、いろいろなことを考えたり感じています。  
普通に接してもらえるのが助かります。さりげなくサポートしてくれる人がたくさん増えたらいいなと思います。
- ◎ 会社全体の理解とサポートがあれば、1年でも2年でも働けたと思います。会社全体として、若年性認知症の方をぜひ受け入れてほしいです。



# 「加齢」と「認知症」の物忘れの違い

## 加齢による物忘れ

- 体験した一部を忘れる  
(朝食に何を食べたか忘れる)
- 目の前の人の名前を思い出せない
- 物の置き場所を思い出せない
- 約束をうっかり忘れてしまった
- 物覚えが悪くなったように感じる
- 曜日や日付を間違えることがある



## 認知症による物忘れ

- 体験全体を忘れる  
(朝食を食べたことを忘れる)
- 目の前の人が誰なのか分からない
- 置き忘れ・紛失が頻繁になる
- 約束したこと自体を忘れている
- 数分前の記憶が残らない
- 月や季節を間違えることがある

